


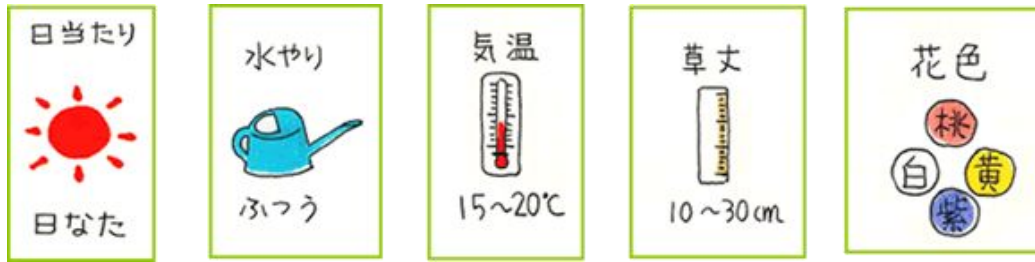
お花の栽培シリーズ「スマレ」		
2006年4月	卯月(うづき)・卯花月(うのはなづき)・鳥月(とりづき)・花残月(はなのこりづき)・夏初月(なつはつき)・余月(よげつ)	●春まき草花の種子まき時期
心待ちにしていた季節の到来です。庭は、活気づき、華やいだ雰囲気があふれます。病害虫の発生が、盛んになる時期でもあるので、防除の手入れは 早めにしましょう。		
庭木の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウメやサクラにウメムシが発生する前に、害虫駆除を定期的に行いましょう。 ・落葉樹を「とり木」でふやすなら、この時期に行いましょう。 	
草花の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・春まきの草花を まき終える ・病害虫の発生がさかんになるので、早めの予防をしましょう。 	

今月の誕生花	チューリップ・デージー・ワスレナグサ	
今月の花	サクラ 花言葉 / 精神美、優れた美人	
	<p>満開のサクラをみると 毎年感動します。サクラは 散り時も ひとときで鮮やかなので、とても美しく感じられます。</p> <p>それは 日本人、特に 江戸っ子の心情と 共通するところがあるようです。そんな満開のサクラを見ながらの お花見も 日本人は大好きのようです。春になると 誰もが お花見に 浮かれます。</p> <p>サクラは、おめでたい花でもあり、結婚式や 結納のときに サクラの塩漬けに 湯を注いだ サクラ湯を飲んだりします。</p>	
	<p>原産地の多くは日本。バラ科サクラ属の落葉高木。丈は5～7m内外。開花時期は3～4月。最盛期は4月。葉の形状は 互生で、長さ8cm内外。花色は白～ピンク。英名チェリーブLOSSOM (Cherry blossom)。</p> <p>昔、サクラは復讐の木でした。男に裏切られた女性が 火をつけたろうそくを頭に立て、ワラ人形とカナヅチ、クギを持って 真夜中に神社に出かけ、一番大きなサクラの幹に人形を打ちつけ、憎い男の命を絶ってほしいと 願をかけるのです。</p> <p>神様にとっても神社のサクラは大事。それが傷つけられるくらいなら女の願いを聞こう、ということのようです。</p> <p>アメリカの初代大統領の ジョージ・ワシントンが 幼い頃、父親の大事にしていたサクラの木を傷つけてしまいますが、正直に告白した・・・という話は 有名。偉大な人ほど、やはり 誠実さが大切なんですね。</p>	

お花の栽培シリーズ

今月の花

スマレ



「スマレ」という名前は、「墨入れ」からきています。
花の形が、大工さんが持っている墨壺に似ていることからきたようです。

スマレは、北半球の温帯地方の野草です。
なかでも 日本には、品種が多く、300種類もあるそうです。
種類によって **葉挿し・根伏せ・株分け**などでも 苗を育てることができますが、やはり **種から育てるのがいい**ようです。
とくに 野山に自生するスマレは、花後に種をとってくる方法が 一番確実でしょう。
※ **葉挿し**・・・葉柄を基部にある葉片をつけたまま 用土に挿しておくで発根する。
※ **根伏せ**・・・基部の太い根を 2~3cmの長さに切り、赤玉土6とパーミキュライト4の割合で 混ぜた用土に埋めておく。

● 植えつけ／植え替えのやり方



植え付けや植え替えは花が終わったら行います。
植え替えは、毎年しましょう。

花壇に植える場合は、日当たりと 水はけのよい場所に15cm間隔ぐらいで 植えつけましょう。

根がよく発達するので、大きめの鉢か中深鉢

● 種のとり方



完熟すると裂けてしまうので要注意!!

袋に入れて保管しましょう!

●種まきのやりかた



種をばらまきして種がかくれるくらいの土を軽くかけます。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育状況			花期									
置き場所	雨にあたると葉病に病気がやすいので、雨にあたらぬ場所に置く						屋外の明るい半日陰			屋外の日当たりの多い場所		
水やり	表土が乾いたら与える(4~6日に1回)		表土が乾いたら与える(2~3日に1回)			表土が乾いたら与える(1日に1回)			表土が乾いたら与える(2~3日に1回)		表土が乾いたら与える(4~6日に1回)	
肥料		(成株) 2週間に1回、液肥を与える						(成株) 2週間に1回、液肥を与える		(苗) 週1回、うすい液肥を与える		
病気害虫	アブラムシの防除にオルトラン粒剤をまく 雨に当たってポチリス病が発生した場合は、ベンレート2000倍液か、ダイゼン水和液で 早めに防除											
作業			植えつけ	種とり/種まき			植えつけ					
			植え替え				植え替え					
							増し土					